

2015年8月10日



株式会社アコーディア・ゴルフ

証券コード:2131

2016年3月期 第1四半期決算 補足資料

本資料に関する注意事項

- 本資料は、株式会社アコーディア・ゴルフおよび当企業グループに関する情報提供を目的としたものであり、投資その他の取引の勧誘または斡旋を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されております戦略・計画・方針・予想等の将来に関する記述は、本資料の作成時点において当社が入手している情報に基づく一定の前提（仮定）および将来の予測等を基礎として当社が判断したものであり、これらには様々なリスクおよび不確実性が内在しております。そのため、当社の支配権の変動その他の要因により、実際の結果等は本資料に記載された内容から大きく乖離しうることをご承知おきください。また、当社は、本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有していません。
- 本資料に記載された内容については合理的な注意を払うよう努めておりますが、掲載された情報の内容の正確性、適切性、網羅性等について、当社は何ら保証するものではありません。
- 本資料に記載されている当社および当企業グループ以外の企業・団体等に係る情報は、公開情報等を用いて作成ないし記載したものであり、かかる情報の正確性、適切性、網羅性等について当社は独自の検証も行っておらず、また、これを何ら保証するものではありません。
- 本資料の掲載数値は、一部を除き連結数値であり、また単位未満は切り捨て算出しているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社アコーディア・ゴルフ
IR部

〒107-0062 東京都港区南青山3-3-3 リビエラ南青山ビルA館

TEL: 03-6688-1500（音声ガイダンス）

mail: ir@accordiagolf.com

IRサイト: www.accordiagolf.co.jp

1. 2016年3月期 第1四半期実績

1. 第1四半期決算について(主に前年同期比ベースにて記載)

- 前年から引き続き、ゴルフ場の予約状況は好調に推移している。当社ゴルフ場の立地の良さや快適なセルフプレーの提供など独自の収益基盤の強さに加えて、九州や西日本の一部を除き好天に恵まれ、運営ゴルフ場の入場者数は、232万名と前年同期比9万名増加する。
- **営業収益**
保有ゴルフ場44コースを比較すれば、入場者数の増加を背景として増収となる。ゴルフ練習場も既存施設が好調に推移。2014年8月に実施したゴルフ場90コースのアセットライトに伴う減収要因が影響(以下、「アセットライトに伴う影響」といいます。)したため、連結全体では12,545百万円減収し、13,318百万円。
- **営業利益**
保有ゴルフ場の事業費の一部は期ズレの未消化項目が生じた中、アセットライトに伴う事業費の減少に伴い、営業収益に対する事業費の比率が前年同期間比で、4.6%低下。販売費および一般管理費は、支払報酬など前年同期間比で減少。粗利益率の高い運営受託収入が計上されたが、アセットライトに伴う影響のため、1,898百万円減益し、2,603百万円(営業利益率19.5%)。
- **経常利益**
営業外収益や営業外費用はともに、前年同期に比べて大きな変動は生じていない。
- **特別利益・特別損失**
太陽光発電事業の権利譲渡を行い、特別利益に権利譲渡益として350百万円を計上。四半期予算に対して、2015年4月にクロージング予定であった、太陽光発電事業の権利譲渡案件の一部が、7月に遅滞したため、約200百万円が未達。(既にクロージングしており、第2四半期に計上予定)
- **貸借対照表**
純資産は、46,261百万円(株主資本比率は28.8%)。

2. 第2四半期・通期業績計画について

- 8月や9月におけるゴルフ場予約状況を勘案し、第2四半期・通期業績計画に対して順調に進捗していると判断している。

2016年3月期第1四半期 決算概要



(百万円)

	2015年3月 1Q	2016年3月期1Q			
		(実績)	(計画)	(前年同期比)	(対通期進捗率)
営業収益	25,863	13,318	12,900	- 48.5%	27.9%
償却前営業利益(EBITDA)	6,551	3,635	3,500	- 44.5%	31.6%
営業利益	4,501	2,603	2,300	- 42.2%	35.2%
経常利益	4,142	2,801	2,500	- 32.4%	40.6%
特別利益	104	383	-	+ 268.3%	-
特別損失	9	52	-	+ 477.8%	-
税前三半期純利益	4,237	3,133	-	- 26.1%	-
四半期純利益	2,848	1,641	2,000	- 42.4%	40.0%
EBITDAマージン	25.3%	27.3%	27.1%	+ 2.0pt	-
運営ゴルフ場(うち契約)	136(3)	138(94)	-	-	-
運営ゴルフ練習場(うち契約)	26(5)	25(5)	-	-	-
運営ゴルフ場入場者数	223万人	232万人	227万人	+9万人	-

直近の営業状況

1. 第1四半期(2015年4月 - 6月)の営業状況

4月は、月初は全国的に天候不順に伴い、需要の取りこぼしが生じたが、月中以降の入場者数は増加に転じる。

5月は、九州や西日本の一部を除き、好天に恵まれ、大型連休や平日など幅広く需要の取り込みを図れた。

6月は、予約が好調に推移した中、九州や西日本の一部を除き、特に収益基盤である関東地方を中心に好調に推移した。

2. 営業状況

	運営ゴルフ場(135コース)		保有ゴルフ場(44コース)		
	入場者数 (対前年同月比)	入場者数 前月末見込み (対前年同月比)	入場者数 (対前年同月比)	入場者数 前月末見込み (対前年同月比)	営業収益 (対前年同月比)
2015年4月	+ 0.6%	+ 10.9%	+ 4.4%	+ 20.9%	+ 6.6%
5月	+ 5.1%	+ 3.8%	+ 8.2%	+ 7.6%	+ 9.2%
6月	+ 6.7%	+ 4.9%	+ 11.3%	+ 9.9%	+ 9.7%
7月(見込み)	- 2.0% (8月1日時点)	+ 5.5%	+ 1.9% (8月1日時点)	+ 9.8%	+ 1.3% (8月1日時点)
8月(見込み)	-	+ 7.3% (8月4日時点)	-	+ 12.3% (8月4日時点)	-

営業収益(内訳)



	(百万円)		
	2015年3月期 1Q	2016年3月期 1Q	(前年同期比)
営業収益	25,863	13,318	- 48.5%
ゴルフ場運営	17,194	8,034	- 53.3%
レストラン	5,625	2,383	- 57.6%
ゴルフ用品販売	1,175	1,270	+ 8.1%
その他	1,868	1,630	- 12.7%
(ゴルフ場運営の内訳)			
コース売上	15,098	5,502	- 63.6%
運営受託収入	10	1,619	+ 16,090.0%
会員収益	2,086	912	- 56.3%
(会員収益の内訳)			
年会費	1,562	475	- 69.6%
名義変更料	129	48	- 62.8%
入会金	395	388	- 1.8%
(その他の内訳)			
ゴルフ練習場	1,272	1,298	+ 2.0%
その他	596	332	- 44.3%

変動要因

＜アセットライトに伴う影響＞

- AGT保有ゴルフ場90コースの収益実績
コース売上10,274百万円、会員収益1,218
百万円、レストラン3,615百万円(減収要因)
- 運営受託収入1,609百万円(増収要因)

＜ゴルフ場運営＞

対象: 運営ゴルフ場

- 前期取得ゴルフ場1コース(増収要因 売上
339百万円)
- ゴルフ場入場者数 232万人
(前年同期比4.0%増)
- 客単価9,610円(前年同期比変わらず)

＜ゴルフ用品販売＞

- 入場者数の増加に伴い、消耗品の需要
がけん引。

＜会員収益＞

- 取得ゴルフ場における「入会金」収益(会
員権販売や補充募集)が好調に推移。

＜ゴルフ練習場＞

- プレー需要の高さを背景として、練習環
境や立地条件の施設の優位性が、集客に
結び付き既存施設の収益が伸びる。

営業費用(内訳)

(百万円)

	2015年3月期 1Q	2016年3月期 1Q	(前年同期比)
営業費用	21,362	10,715	- 49.8%
事業費	20,148	9,761	- 51.6%
人件費	6,995	3,364	- 51.9%
材料費	3,239	1,934	- 40.3%
その他経費	9,914	4,461	- 55.0%
販売費及び一般管理費	1,214	954	- 21.4%
人件費	313	413	+ 31.9%
その他経費	901	540	- 40.1%

変動要因

<事業費>

アセットライトに伴う影響により、事業費は大幅な削減効果。以下、保有ゴルフ場などに関する費用変動要因を記載。

- 人件費
ゴルフ場の営業収益レベルごとに設定した標準労務費の範囲内で管理を行っている。人件費の変動費化の効果が始めている。
- 材料費
入場者数の増加に伴うレストラン販売数量の増加と、原材料価格の増加が影響。
- その他経費
水道光熱費(主にA重油)や車両経費(ガソリン)が減少。自社予約サイトの強化に伴い、Web誘客手数料は前年同期水準と伸びを抑制。

<販売費及び一般管理費>

- 人件費
AGTのゴルフ場に対する経営管理を担う、本社のゴルフ場管理者の人件費が事業費から一般管理費に計上変更した影響。
- その他経費
アセットライト実行に伴う費用が大幅減少。

アセットライトの効果 (AGT保有90コース)

アセットライト前

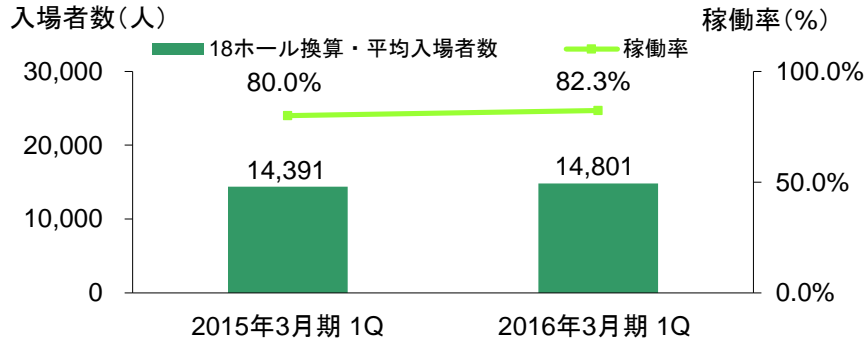
人件費	マネージメント(支配人)	当 社 負 担
	スタッフ	
材料費	食材・資材など	AGT 負担
その他経費	Web手数料など	

アセットライト後

マネージメント(支配人)	出向派遣 AGTIに請求
スタッフ	AGT 負担
食材・資材など	
Web手数料など	

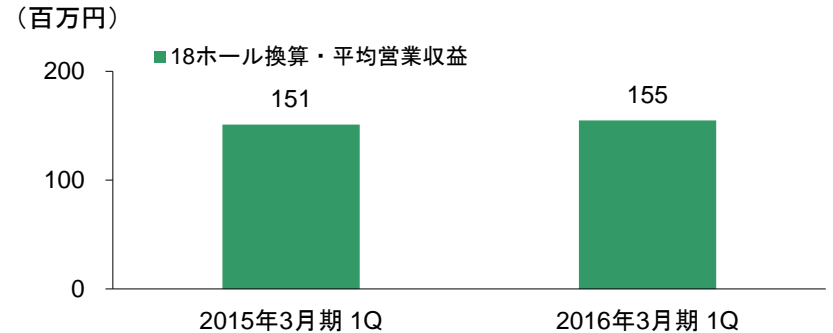
運営ゴルフ場の収益状況(対象:運営135コース)

入場者数／稼働率



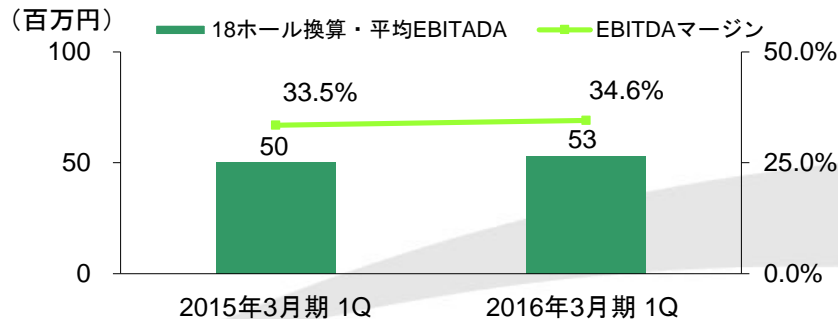
* 稼働率 = 18ホール当たり入場者 / 営業日数 × 200(名)

営業収益

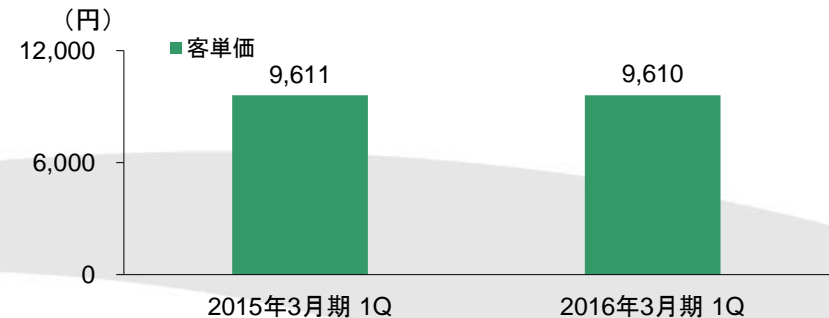


(注) ゴルフ場運営収益 + レストラン + ゴルフ用品販売を18ホール換算で算出

EBITDA(本社費用配分前)



客単価

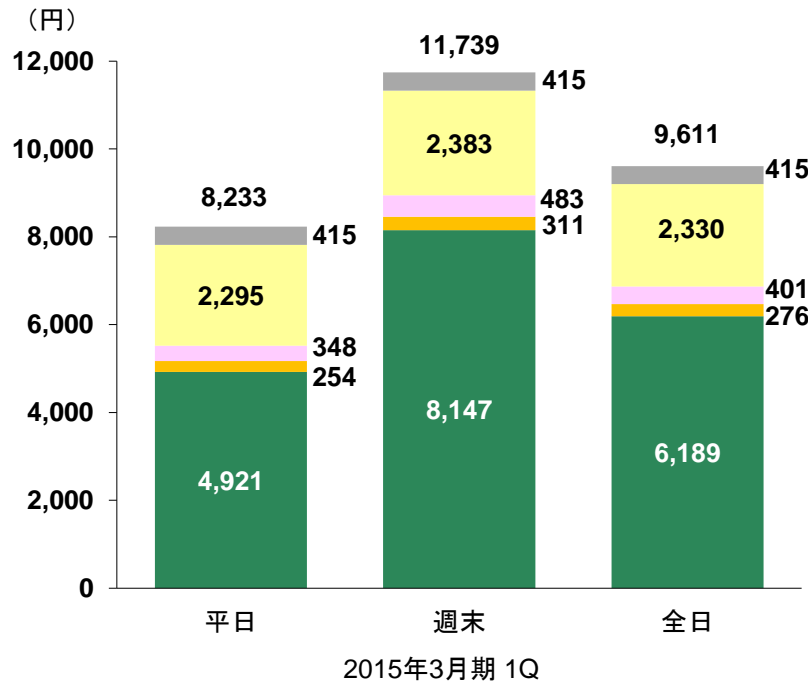


* 客単価 = コース売上 + レストラン(除くグループ外売上) + ゴルフ用品販売 / 入場者数

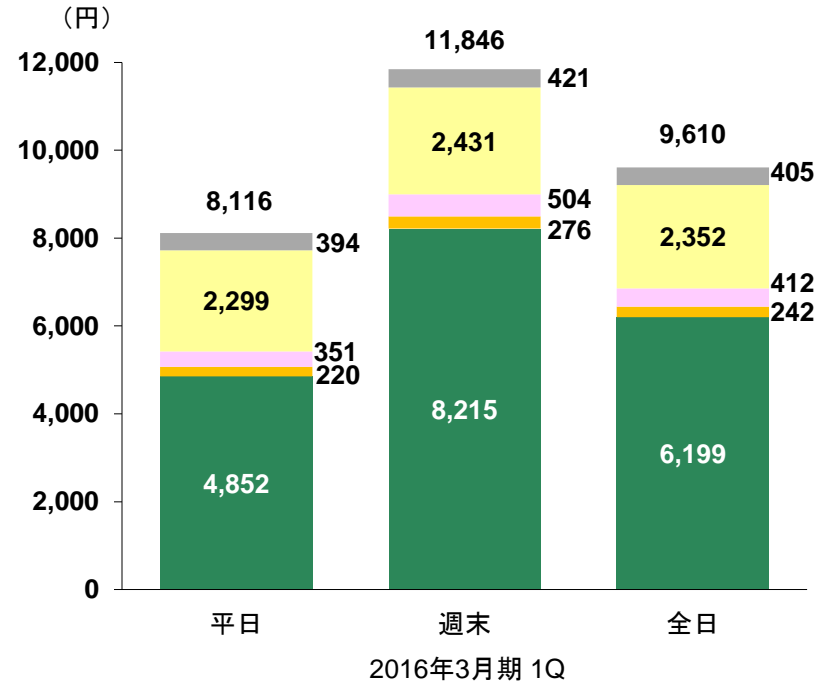
(注) 保有および運営受託契約(含む経営管理委託契約)を締結している135コースを対象(営業休止ゴルフ場を含む)。

客単価の内訳(対象:運営135コース)

■ プレーフィ ■ キャディフィ ■ プロショップ ■ 飲食 ■ その他



■ プレーフィ ■ キャディフィ ■ プロショップ ■ 飲食 ■ その他



- 全体方針として、単価設定と稼働のバランスを図る。一方、平日においては早期の予約獲得など稼働を重視した集客施策を実施。
- 平日はプレー需要の取り込み余地があるため、全体ではやや下落を想定。
一方、稼働率が高い週末に関しては、需要に応じた丁寧な単価設定がプレーフィ単価上昇に結び付いている。
- キャディレス率93.5%(前年同期比1.0ポイント上昇)
- プロショップは、高額商品が伸び悩む一方、飲食はコンペ需要が増加。
- 第1四半期における、運営ゴルフ場135コースの客単価(全日)は想定、9,668円。

(注)客単価は、お客様の属性やプレースタイル、スタート時間、繁忙日・閑散日など、状況に応じて多様な料金スタイルから構成されています。
上記数値は、対象ゴルフ場のコース売上・レストラン・ゴルフ用品販売の営業収益合計を入場者数で除して算出しています。

貸借対照表の状況

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期1Q	増減	増減要因
流動資産	17,177	21,500	+4,323	現金及び預金の増加
固定資産	140,597	139,338	-1,259	
有形固定資産	96,287	96,710	+423	既存施設に対する設備投資
（うちゴルフコース）	42,716	42,731	+15	
（うち土地）	28,534	28,518	-16	
無形固定資産	11,638	11,238	-400	
（うち）のれん	8,930	8,617	-313	のれんの償却
投資その他の資産	32,672	31,389	-1,283	AGTのユニット28.9%を保有
資産合計	157,775	160,839	+3,064	
流動負債	30,765	37,008	+6,243	
（うち）短期借入金	500	5,040	+4,540	短期融資枠の活用
（うち）1年内返済予定 長期借入金	12,410	14,410	+2,000	今期の約定返済予定分
固定負債	79,847	77,569	-2,278	
（うち）長期借入金	53,132	50,920	-2,212	
（うち）入会保証金	9,522	9,434	-88	
負債合計	110,612	114,578	+3,966	
純資産	47,162	46,261	-901	
負債純資産合計	157,775	160,839	+3064	

負債の状況

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期 1Q	増減	概要
短期借入金	500	5,040	+4,540	
1年内返済予定長期借入金	12,410	14,410	+2,000	源泉税支払に対応した8,000百万円は、2015年7月に還付金を原資として弁済済み
CP	4,998	4,997	-1	キャッシュポジションの調整
長期借入金	53,132	50,920	-2,212	新株予約権付ローン20,000百万円
リース債務	8,755	8,622	-133	練習場設備などをセール&リースバック
有利子負債計	79,795	83,989	+4,194	DEレシオ1.8倍(有利子負債/純資産)
ネット有利子負債	67,555	68,491	+936	有利子負債から現預金とリース債務を控除
入会保証金	9,522	9,434	-88	

- 2015年3月期中に実施した借り換えにより、ネット有利子負債の74%は長期化に伴い、安定性と返済時期の分散を図る。
- 多様な資金調達や金融収支の改善を図るため、社債の調達を企図する。
- 新株予約権付ローン 行使価額:1株当たり1,361円、発行数:141,843個、行使期間:2014年8月1日から2017年11月末日。

主な財務制限条項(コベナント)【2014年シンジケートローン】

対象:2019年8月返済期限のシンジケートローン他

- 株主資本比率20%以上
- レバレッジレシオ6.0倍(格付BBB)
- 長期優先債務格付をBBB-以上に維持する

<格付>

長期発行体格付 BBB JCR

見直し(ネガティブ)

コマーシャルペーパー J-2 JCR

短期融資枠計 7,700百万円(2015年6月30日現在)

キャッシュ・フローの状況

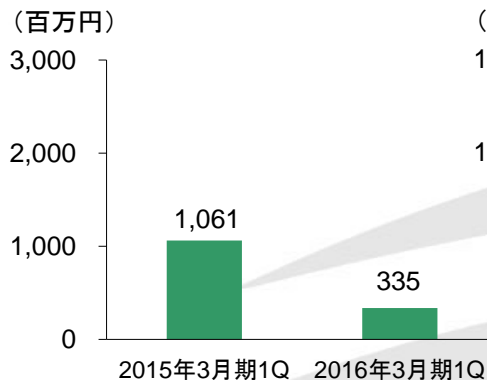
(百万円)

	2015年3月期 1Q	2016年3月期 1Q	(前年同期比)
営業活動	1,614	328	- 79.7%
投資活動	△1,211	1,490	+ 223.0%
財務活動	1,732	1,572	- 9.2%
増減額	2,135	3,391	+ 58.8%
期首残高	4,594	3,485	- 24.1%
新規連結	-	-	-
期末残高	6,730	6,876	+ 2.2%

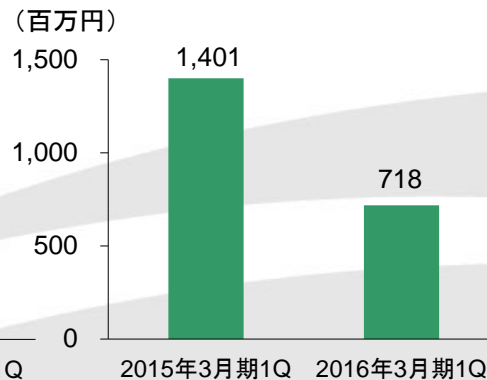
変動要因

- 営業CFは、アセットライトに伴う影響が生じた。
- 投資CFは、AGTからの分配金収入1,634百万円を計上。アセットライトの影響に伴い、保有資産が減少したため、設備投資負担が軽減される。
- 財務CFは、期末配当金の支払いに対して、短期借入金による収入で賄う。年間の営業キャッシュ・フローで弁済を進める。

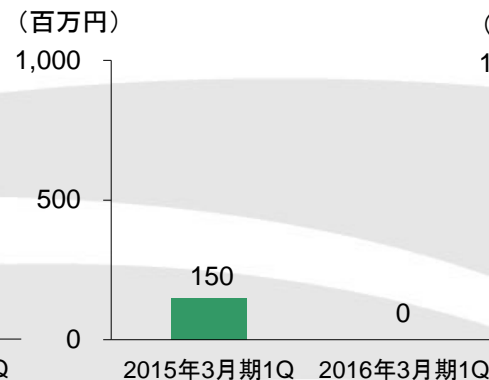
設備投資



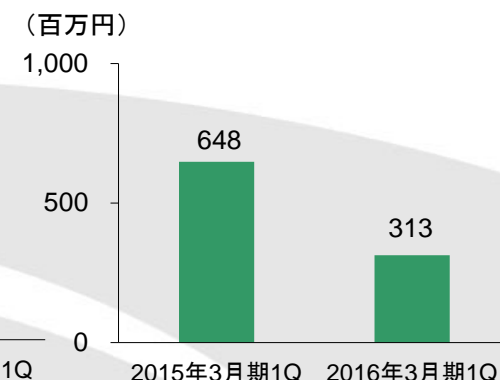
減価償却費



ゴルフ場取得費用(注)



のれん償却費



(注) 投資活動によるキャッシュ・フローより、「子会社株式の取得」および「長期貸付けによる支出」、「スポンサー出資中間金」、「スポンサー拠出金」を合算算出。

ゴルフ場の取得、売却状況

1.取得・売却

2016年3月期第1四半期は、ゴルフ場の取得および売却は行っていない。

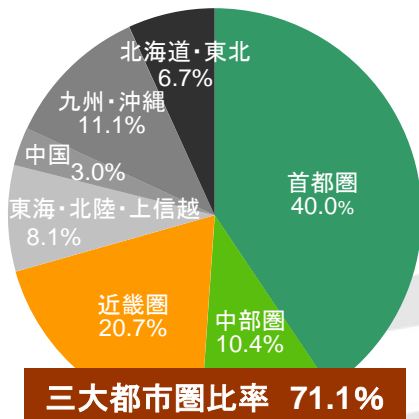
2.契約

コース名	日程・スキーム	所在地・ホール数	営業収益(前年実績)
スカイウェイカントリークラブ	2015年3月 スポンサー契約締結	千葉県成田市 18	430百万円

今後の取得方針

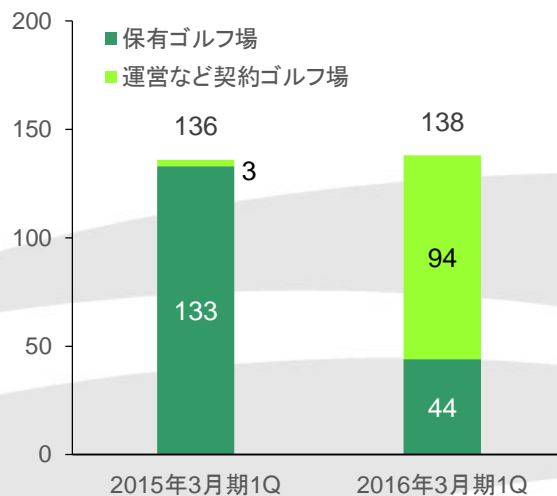
- 昨年比、当社に持ち込まれる案件数は増加傾向、三大都市圏内の案件発掘を進め、運営ゴルフ場数のシェア拡大を目指す。
- 優良物件への積極投資を進め(3事業年度で15コース以上が目標)、北米など海外案件も探索範囲に拡大。
- 地方に立地する低収益なゴルフ場は、整理が進んでおり、都市型ゴルフ場ポートフォリオの構築は進む。

運営ゴルフ場 展開立地



(注) 1 2015年6月末現在 対象:運営135コース
2 中部圏は、愛知県・岐阜県・三重県が対象

ゴルフ場数



- **経営交代、法的整理の状況**
2015年1月-6月における
経営交代30コース(前年同期18コース)
法的整理5コース(前年同期3コース)
 - **主なゴルフ場運営状況**(2015年6月末・コース数)
当社134、PGM126、オリックス系40、
西武系28、市川ゴルフ興業系27、東急系26、
チェリーゴルフ系23、OGIグループ19、太平洋
クラブ17、ユニマット16、シャトレゼ15、リソ
ル15、リゾートトラスト13、東京建物12、明智
GC・房総CC系10
- 出所:一季出版「ゴルフ特信」より当社集計

ゴルフ練習場 収益状況

(百万円)

	2015年3月期 1Q	2016年3月期 1Q	(前年同期比)
営業収益	1,433	1,487	+ 3.8%
償却前営業利益(EBITDA)	501	577	+ 15.2%
EBITDAマージン	35.0%	38.8%	+ 3.9pt
入場者数(万人)	94	96	+ 2.1%
スクール受講者数(千人)	59	63	+ 6.8%
打席回転率	5.2	5.5	-
対象店舗数	26	25	-

- 都市部の既存施設を中心に、打球売上が増加するなど収益性が向上。
- 他オーナー様の物件に対して、運営受託や賃貸借契約の提案営業を積極化。

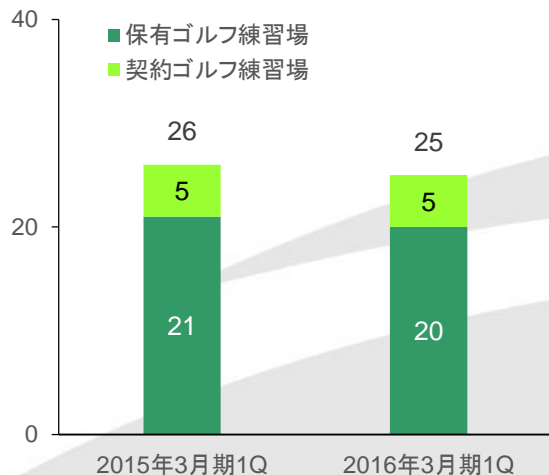
- **取得・開発案件の特徴**
・小田急志津ゴルフクラブ
(2015年7月取得／千葉県佐倉市／100打席)

提携

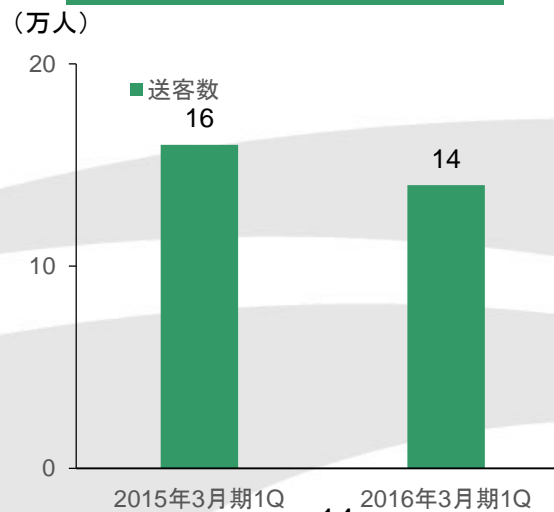
提携ゴルフ練習場617ヶ所
2015年6月より、提携練習場からの送客手法を変更。

- **ゴルフ練習場の経営環境**
国内の練習場数3,361ヶ所(2014年)
延べ利用者数9,082万人(2014年)

ゴルフ練習場数



ゴルフ場への送客数



平均顧客単価の推移(対象:運営ゴルフ場)



(円)

2012年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
顧客単価	9,490	9,761	9,568	9,563	8,890	9,390	9,983	10,193	10,236	9,711	9,359	9,750	9,666
対象コース数	133	135	135	136	135	135	135	135	133	134	134	134	-
2013年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
顧客単価	9,870	9,683	9,588	9,336	8,873	9,336	9,797	10,252	10,415	9,651	9,221	9,718	9,651
対象コース数	133	132	132	133	133	134	132	132	133	133	133	134	-
2014年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
顧客単価	9,725	9,735	9,777	9,124	8,921	9,272	9,771	10,473	10,234	9,229	8,765	9,752	9,610
対象コース数	134	134	134	134	134	134	134	133	133	133	133	134	-
2015年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
顧客単価	9,648	9,772	9,396	9,098	8,793	9,067	9,729	10,657	10,217	9,022	8,586	9,187	9,465
対象コース数	134	134	134	134	134	134	135	135	135	135	135	135	-
2016年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
顧客単価	9,674	9,859	9,280										-
対象コース数	135	135	135										-

(注)1 平均顧客単価は、保有・運営受託契約を締結したゴルフ場の営業収益から会員収益(入会金、名義書換料、年会費収入)を除く数値を入場者数で除する

2 コース数は、保有・運営受託契約ゴルフ場を対象とし、取得/売却・運営受託契約を締結したコースは、翌月より増減(会社更生中のゴルフ場は除く)

循環型ビジネスモデルのバリューチェーン

- ゴルフ場の保有から運営事業に特化し、運営ゴルフ場数の増加を進め、持続的な入場者数のシェア拡大
- 2017年3月期までを目標に、ゴルフ場資産の簿価400億円程度の追加アセットライト施策を実行する準備



- 1
- ・三大都市圏を中心に、ゴルフ場を発掘、パイプラインの強化（金融機関や仲介会社との情報交換を強化）
 - ・ディスカウントレートは、8%～10%程度を想定、収益性や希少性を勘案

- 2
- ・ブランド力を基に集客策、入場者数の増加に伴う収益の底上げ
 - ・集中購買の導入、人件費の適正化などコストコントロールの実行

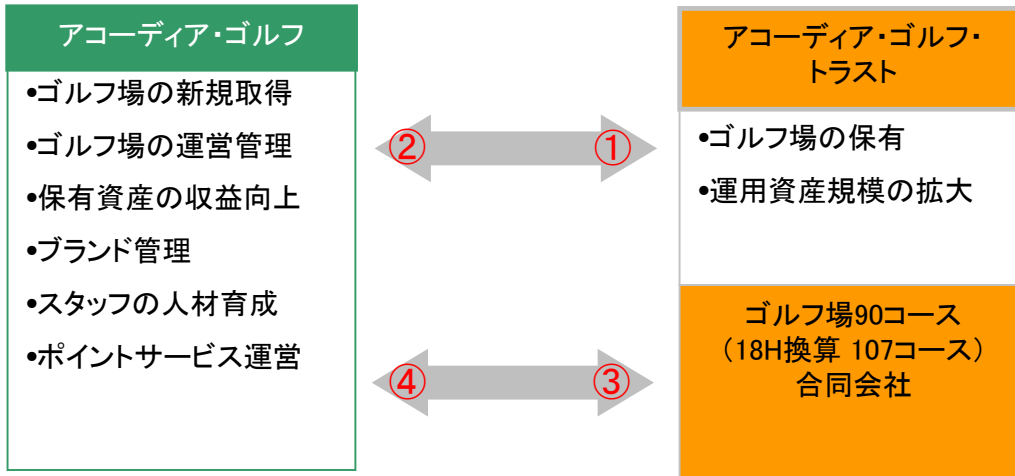
- 3
- ・収益改善後、主にBTに対する売却

- 4
- ・売却したゴルフ場の取得時に借り入れた有利子負債の返済
 - ・資産の減少に見合った株主資本の水準を維持するために、自社株買いや記念配当など株主還元強化
 - ・新たなゴルフ場投資に一部を充当

- 5
- ・BTへの売却後、傘下のゴルフ場資産保有会社との間で、経営管理委託契約を追加
 - ・経営管理契約は、当初10年間（5年毎更新）

アセットライト施策後における収益構造の変化

1. ビジネス・トラストとの相関関係

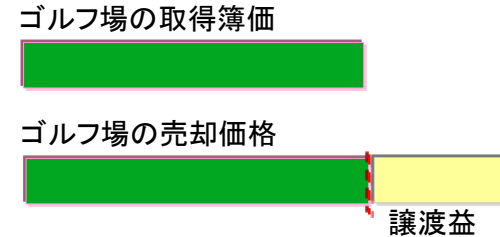


①ユニットの28.9%保有
 ②分配金収益
 (2016年3月期以降)
約15~17億円(通年)

③経営管理委託契約
 (商標使用許諾、システム使用許諾、運営ノウハウの提供、
 経営指導や助言、マネージメントの派遣・出向)
 契約期間: 2014年6月~2024年6月
 (初回契約5年、5年更新)
 2024年7月以降も5年更新

④運営受託収入
 (コーポレート報酬・18Hごとに275万円/月、ベースフィ・営業
 収益の3%、インセンティブフィ・EBITDAの5%、会員収入イ
 ンセンティブフィ、集中購買システム使用料)
約60億円(通年)

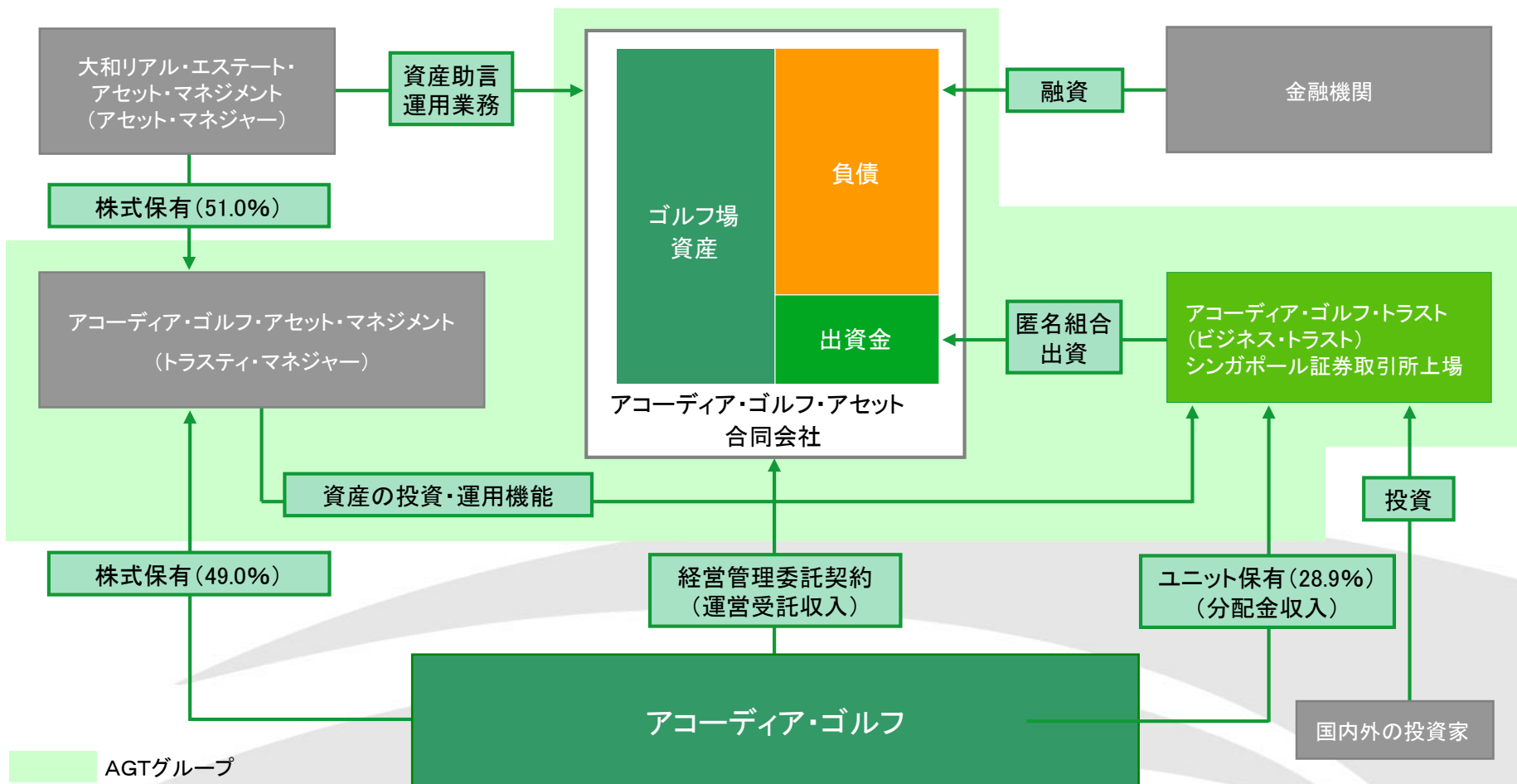
2. アセットライト時のキャッシュ配分(想定)



売却金額	有利子負債の返済 売却資産の取得時における借入金を返済
	再投資 売却金額の一部を、将来のゴルフ場取得資金に活用
譲渡益	株主還元(自己株の取得) ゴルフ場資産の売却に見合う、自己資本の圧縮を図る
	株主還元(配当) 記念配当の実施も検討

ビジネス・トラストの概要

- ビジネス・トラスト(事業信託)、ゴルフ場事業を証券化し、出資金を基に組成・ユニットを上場
- シンガポール証券取引所上場、約650億円(時価総額)
- 投資家には、ゴルフ場資産に係る費用などを差し引いたキャッシュ・フローから分配金を支払う



株主資本利益率(ROE)の向上に向けた考え方

1. 方針

- 運営受託収入を中心とした収益構造に転換した際、中長期的な経営成果を示す指標として、ROE15%程度を目標。
- 保有ゴルフ場の追加アセットライトを進める移行期であり、資産圧縮に伴う、最適な資本効率を目指す。

2. 具体的な取り組み

株主資本利益率(ROE)15%程度の実現・維持

資産規模に見合う 適正な自己資本水準

- ・株主還元の強化(ベース配当の成長、自社株買いによる適正な自己資本水準)
- ・格付けに配慮するため、一定の自己資本比率を意識

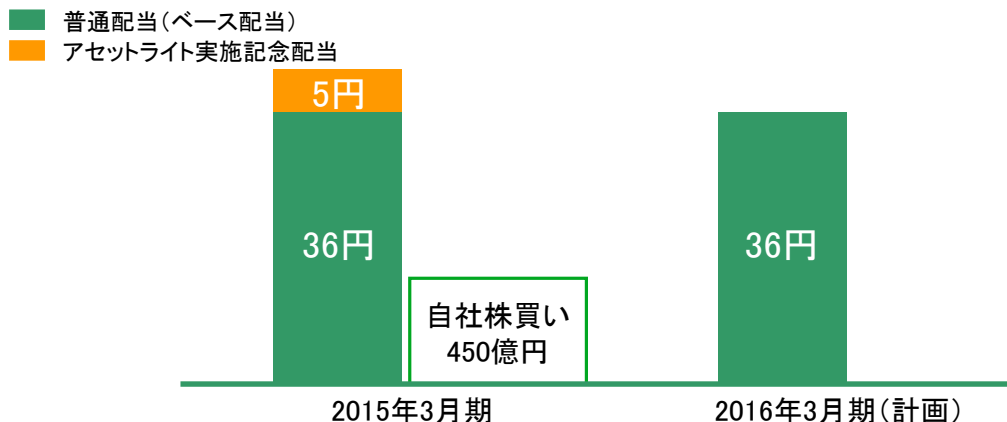
資産規模に見合う 負債規模に圧縮

- ・追加アセットライトの実行時には、借り入れを返済
- ・金利コストの低減を図るため、多様な資金調達を模索

営業利益率の向上に 伴う純利益の成長

- ・追加アセットライトの実行に伴う、運営受託収入の増加により利益率の向上
- ・事業部門の効率化を模索、本社部門の間接コストなど事業費を削減

1. 配当の推移



2. 2016年3月期以降の株主還元方針

株主還元 その1

- 「みなし連結当期純利益」の45%が配当性向

算式

- みなし連結当期純利益
= 連結当期純利益 - 特別損益
+ 当該特別損益に関わる法人税等
- 配当額の目途
= みなし当期純利益 × 45%



株主還元 その2

- ゴルフ場移管/譲渡に伴う余剰キャッシュ・フローの一部を充当
- ゴルフ場売却益計上時に、当該ゴルフ場に関わる借入金返済、追加ゴルフ場取得をにらみながら、積極的に、自己株式の取得または配当等を含め、株主還元を目指す

総株主還元性向目標: 90%

(各数値は2015年5月13日に発表した計画から変更していません)

2. 2016年3月期業績計画

2016年3月期 業績計画



(各数値は2015年5月13日に発表した計画から変更しておりません)

(百万円)

	2015年3月期	(計画)	2016年3月期	(前期比)
営業収益	63,908		47,800	- 25.2%
償却前営業利益(EBITDA)	12,863		11,500	- 10.6%
営業利益	7,330		7,400	+ 1.0%
経常利益	3,536		6,900	+ 95.1%
当期純利益	6,015		4,100	- 31.8%
EBITDAマージン	20.1%		24.1%	+ 4.0pt
1株当たり当期純利益(円)	71.62		58.15	-
1株当たり配当(円)	41 <small>(中間配当5円含む)</small>		36	-
ROA (当期純利益/総資産)	2.9		2.8	- 0.1pt
ROE (当期純利益/自己資本)	8.6		8.8	+ 0.2pt
運営ゴルフ場入場者数(万人)	811		822	-

(注) 1. 2015年3月末発行済み株式数 84,739,000株より自己株式14,234,378株を控除した、70,504,622株を使用して算出

2. ROAおよびROEは、総資産および自己資本(2015年3月期と2016年3月期計画値の期中平均)で算出

2016年3月期業績計画の前提条件

運営対象		
運営ゴルフ場数	93コース	AGT保有運営受託90コース、他3コース
保有ゴルフ場数	44コース	
<ul style="list-style-type: none"> ● 保有ゴルフ場の収益 (2014年8月、アセットライトを実行したため、4月～7月までは前年対比では減収) ● 運営受託収入 ゴルフ場新規取得見込み案件は、期初の収益計画に織り込んでいない。 ● 追加アセットライトは、織り込んでいない。 		
ゴルフ練習場数	25ヶ所	2015年7月取得予定の1施設は織り込んでいない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 追加アセットライトは、織り込んでいない。 		
資産・資本		
<ul style="list-style-type: none"> ● 追加アセットライトに伴う、ゴルフ場資産や有利子負債(約定弁済分を除く)の減少、資本効率の改善は、期初計画に織り込んでいない。 		
<p><持ち分法投資利益></p> <ul style="list-style-type: none"> ● AGTおよび子会社決算を日本会計基準で算出し、ユニット持分28.9%を取り込む。 <p><特別利益></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電事業の権利譲渡益 		

みなし:2016年3月期 業績計画



(各数値は2015年5月13日に発表した計画から変更していません)

(百万円)

	みなし	2016年3月期		
	2015年3月期	(計画)	(前期比)	(主な変動要因)
営業収益	46,600	47,800	+ 2.6%	保有ゴルフ場(コース売上とレストラン) +960(+3.3%) 運営受託収入+70(+1.3%) 練習場+160(+3.1%) 太陽光発電(新規)+80(-)
償却前営業利益(EBITDA)	10,131	11,500	+ 13.5%	
営業利益	5,983	7,400	+ 23.7%	保有ゴルフ場(コース売上とレストラン) +600(+10.5%) 練習場+150(+23.6%) ポイント経費他の減少-370(-7.2%)
経常利益	4,682	6,900	+ 47.4%	ファイナンス費用の減少
当期純利益	3,118	4,100	+ 31.5%	
EBITDAマージン	21.7%	24.1%	+ 2.4pt	
運営ゴルフ場(うち契約)	137(93)	137(93)	-	
運営ゴルフ場入場者数(万人)	811	822	-	

<みなし数値の前提>

- ゴルフ場90コースのアセットライトを2014年3月末に完了したと仮定し、算出しております。
- 2015年3月期のみなし数値は、ファイナンス費用を除きアセットライト関連費用は取り除いて算出しております。

2016年3月期 新中計数値との差異

(各数値は2015年5月13日に発表した計画から変更してありません)

(百万円)

	2016年3月期	新中計数値 2016年3月期	主な差異	新中計最終年 2017年3月期
営業収益	47,800	54,200	2015年3月期取得遅れ -2,500 2016年3月期取得効果 -2,800 リテイルの減収 -1,000	55,500
償却前営業利益(EBITDA)	11,500	13,100		13,800
営業利益	7,400	8,500	2015年3月期取得遅れ -400 ゴルフ練習場 -200、 リテイル -200	8,900
EBITDAマージン	24.1%	24.1%		24.8%
営業利益率	15.5%	15.8%		16.1%
当期純利益	4,100	6,300	追加アセットライトに伴う、譲渡益は期初計画に織り込まず	6,400

保有ゴルフ場の追加アセットライト方針

1.権利関係整理中
権利関係の整理見通しが付き次第、売却

2.ブランド/事業再構築中
ブランド/事業の再構築が完了し、安定的な収益獲得が可能になり次第、売却

3.収益改善完了前
収益改善による収益最大化が実現でき次第、売却

- ・有形・無形固定資産の約5~6割
- ・将来的な売却に伴い、資産規模は縮小
- ・売却代金は借入金返済、ゴルフ場取得、株主還元充当

- ・循環型ビジネスとして継続的買収
- ・売却と取得が相殺されゴルフ場を「在庫」として保有

2016年3月期 営業収益(内訳)計画

(各数値は2015年5月13日に発表した計画から変更していません)

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	(前期比)
営業収益	63,908	47,800	- 25.2%
ゴルフ場運営	40,443	28,600	- 29.3%
レストラン	12,638	8,400	- 33.5%
ゴルフ用品販売	4,408	4,500	+ 2.1%
その他	6,418	6,300	- 1.8%
(ゴルフ場運営の内訳)			
コース売上	31,427	19,100	- 39.2%
運営受託収入	3,905	6,100	+ 56.2%
会員収益	5,111	3,400	- 33.5%
(会員収益の内訳)			
年会費	3,357	1,900	- 43.4%
名義変更料	320	300	- 6.3%
入会金	1,434	1,200	- 16.3%
(その他の内訳)			
ゴルフ練習場	4,677	4,800	+ 2.6%
その他	1,741	1,500	- 13.8%

計画数値の背景

<ゴルフ場>

運営ゴルフ場 135コース

● 入場者数 822万人(+11万人)

● 稼働率 75.0%(+0.4pt)

● 客単価 9,619円(+154円)

保有ゴルフ場 44コース

● 入場者数 246万人(+8万人)

● 稼働率 70.6%(+0.3pt)

● 客単価 10,971円(+74円)

2012年3月期以前取得37コース

2013年3月期取得5コース

2014年3月期取得1コース

2015年3月期取得1コース

● インバウンド需要の取り込みを模索

ゴルフ練習場25ヶ所

● 入場者数 355万人(+9万人)

2016年3月期 営業費用(内訳)計画

(各数値は2015年5月13日に発表した計画から変更していません)

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	(前期比)
営業費用	56,577	40,400	- 28.6%
事業費	51,127	36,600	- 28.4%
人件費	17,636	13,500	- 23.5%
材料費	8,426	6,600	- 21.7%
その他経費	25,065	16,500	- 34.2%
販売費及び一般管理費	5,450	3,800	- 30.3%
人件費	1,672	1,200	- 28.2%
その他経費	3,778	2,600	- 31.2%

計画数値の背景

<事業費>

全体では、アセットライトに伴い、事業費は4ヶ月分の削減効果。

- 人件費
変則労働制の導入による労働時間の調整や予約センターの自社運用に伴う一般管理部門の削減を見込む。
- 材料費は、食材の一部コスト増加を見込む。
- その他経費
Web誘客手数料の増加を見込む。

<販売費及び一般管理費>

- 人件費
AGTのゴルフ場に対する経営管理を担う、本社のゴルフ場管理者の人件費が事業費から一般管理費に、4ヶ月分が計上変更。
- その他経費
アセットライト取引の実行に伴う費用が減少。

アセットライトの効果 (AGT保有90コース)

アセットライト前

人件費	マネージメント(支配人)	当 社 負 担
	スタッフ	
材料費	食材・資材など	
その他経費	Web手数料など	

アセットライト後

マネージメント(支配人)	出向派遣 AGTに請求
スタッフ	AGT 負担
食材・資材など	
Web手数料など	

2016年3月期 四半期毎の業績計画数値



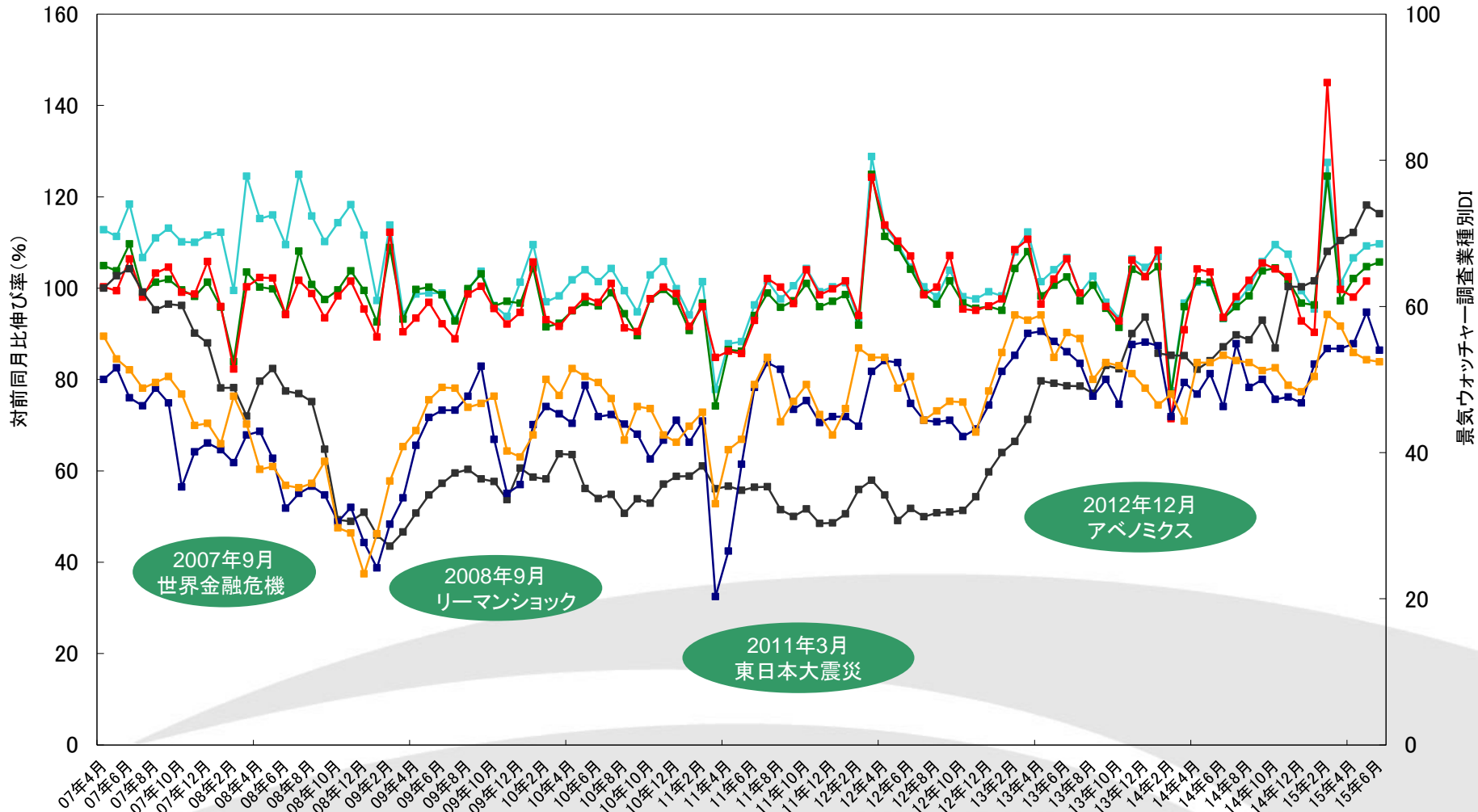
(第2四半期の四半期純利益のみ、期ズレの影響を考慮し、修正しております。)

(百万円)

	1Q計画	1Q実績	計画比	当初 2Q計画	修正 2Q計画	前年 同期比
営業収益	12,900	13,318	+ 3.2%	11,900	11,900	- 23.0%
償却前営業利益(EBITDA)	3,500	3,635	+ 3.9%	2,100	2,100	+ 20.6%
営業利益	2,300	2,603	+ 13.2%	1,200	1,200	+ 225.2%
経常利益	2,500	2,801	+ 12.0%	600	600	+ 117.6%
四半期純利益	2,000	1,641	- 18.0%	500	700	- 13.8%
EBITDAマージン	27.1%	27.3%	+ 0.2pt	17.6%	17.6%	+ 6.4pt
運営ゴルフ場入場者数	227万人	232万人	+ 2.2%	221万人	221万人	+ 3.1%
客単価(運営ゴルフ場)	9,668円	9,610円	- 0.6%	9,049円	9,049円	+ 0.7%
	3Q計画	前年 同期比	4Q計画	前年 同期比		
営業収益	13,200	+ 1.8%	9,800	+ 1.9%		
償却前営業利益(EBITDA)	4,100	+ 33.7%	1,800	+ 19.7%		
営業利益	3,100	+ 53.1%	800	+ 83.9%		
経常利益	3,300	+ 39.1%	500	+ 17.6%		
四半期純利益	1,900	- 27.4%	-300	+ 14.9%		
EBITDAマージン	31.1%	+ 7.4pt	18.4%	+ 2.7pt		
運営ゴルフ場入場者数	216万人	+ 2.8%	158万人	- 3.7%		
客単価(運営ゴルフ場)	10,212円	+ 0.3%	9,534円	+ 6.5%		

当社月次推移と経済環境

- 当社月次推移(売上高、全ゴルフ場) ■ 特定サービス産業動態統計調査(ゴルフ場売上) ■ 景気ウォッチャー調査(現状判断、レジャー施設関連)
- 当社月次推移(売上高、既存ゴルフ場) ■ 日経平均株価月次終値※ ■ 景気ウォッチャー調査(先行き判断、レジャー施設関連)



※日経平均株価は2007年4月終値を100として、毎月の終値を指数化

(出所) 経済産業省: 特定サービス産業動態統計調査(対個人サービス関連、趣味・娯楽関連)、内閣府: 景気ウォッチャー調査(全国の分野・業種別DIの推移)より当社集計